

委員会審査

6月定例会で委員会に付託された議案等について審査を行いました。

総務文教委員会

委員長 梅 木 良 照

◆埋蔵文化財センター整備事業について

問 整備内容と施設の管理・運営について

答 大洲市には大洲城をはじめ市内各所から歴史上貴重な埋蔵品や出土品が多数発見されているが、それらを展示、紹介できる施設がないため、現在は、肱川町宇和川の施設において業者委託により整理作業のみを行っているところである。今回の事業は、これらの出土品等を収蔵・展示するため、今年4月にオープンしたお殿様公園内の既存施設を改修し、埋蔵文化財センターとして整備するものであり、現在行っている整理作業も含めて移転する予定である。移転後は、業者委託の整理作業員を配置



埋蔵文化財センターとして整備予定の旧加藤家離れ（お殿様公園内）

し、展示品の説明とあわせてお殿様公園内の説明もできるようにしていきたい。

◆新図書館モニUMENT設置工事について

問 モニUMENT設置に至った経緯について

答 モニUMENTの発想は、市民の方からヒノキの化粧丸太を2本寄贈していただいたことから、これの

有効利用方法を検討した結果、化粧丸太に電動仕掛けの童話のキャラクターやオリジナルキャラクターを乗せて、子どもからお年寄りまで、市民の誰もが親しみを持てるモニUMENTの設置を決定したものであり、キャラクターが座る椅子の一部には大洲特産のシイタケをあしらう予定である。なお、この事業は日本宝くじ協会から全額助成を受けて実施するものである。

企画財政委員会

委員長 古 野 青 弘

◆離島航路運営補助金について

問 青島航路の運営状況について

答 青島航路の運営実績は、事業年度である平成18年10月から平成19年9月までの運行日数が321日、611回、輸送人員が3,945人であった。また、運賃等の運航収益等は44万8,118円であったが、運航費用が3,850万6,872円かかっており、差し引き3,408万8,754円が実質欠損額となっているが、その内、3,240万668円が国庫補助金として確定している。今回の補正予算は実質欠損額から国庫補助金を差し引いた残額に、旧長浜町で行っていた債務負担分104万1,645円を加えた金額を予算計上しているものである。この債務負担は、平成15年度に旧長浜町が船舶整備公団から船舶を買収した際に6年間の債務負担行為を起こしていたものである。



青島と長浜港を結ぶ定期船「あおしま」

◆コミュニティ助成事業補助金について

問 村島地区と柳沢地区の事業内容について

答 この事業は、財団法人自治総合センターが要綱に定めるコミュニティ活動に助成を行うことにより、コミュニティの健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報事業を行うもので、今回は2地区の伝統文化の継承事業として、村島獅子保存会が獅子舞用の獅子頭や衣装、締め太鼓等の整備を、また、柳沢獅子舞保存会が同じく獅子舞用の太鼓や面、衣装等の備品を整備するものである。両保存会とも地域の有志の方々や子どもたち、青少年の方々を中心に練習を行い、秋祭りや公民館のふるさと祭り等において獅子舞を披露され、郷土に残る伝統芸能を保存継承していただいている。

◆長寿社会づくりソフト事業補助金について

問 坂本龍馬脱藩の道体験事業について

答 この事業は財団法人地域社会振興財団からの助成を受け、坂本龍馬脱藩の道保存会が主体となって